

平成28年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年10月27日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東  
 コード番号 6464 URL http://www.tsubaki.com/  
 代表者 (役職名)取締役兼代表執行役CEO (氏名)高宮 勉  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼専務執行役CFO (氏名)小原 シェキール (TEL)06-6224-0193  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	27,533	△7.5	5,299	△6.9	4,161	△19.2	3,056	△19.9	3,057	△19.8	△2,127	—
27年12月期第3四半期	29,767	11.6	5,694	45.1	5,149	5.0	3,814	20.8	3,812	20.8	3,046	9.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	76.75	75.54
27年12月期第3四半期	97.21	—

(参考)

EBITDA 28年12月期第3四半期6,497百万円 (7.6%減) 27年12月期第3四半期 7,033百万円

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

(注1) 27年12月期第3四半期の希薄化後1株当たり当期利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は27年12月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	89,227	40,529	40,513	45.4
27年12月期	95,197	45,053	45,034	47.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	33.00	33.00
28年12月期	—	30.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	33.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	△7.3	7,150	0.6	6,130	△3.6	4,500	0.5	112.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)  
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	39,880,200株	27年12月期	39,769,700株
28年12月期3Q	75株	27年12月期	—株
28年12月期3Q	39,824,707株	27年12月期3Q	39,221,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、英国のEU離脱、相次ぐテロや難民問題への不安、アジア新興国経済の減速、原油安など景気下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。一方、国内においては、依然として個人消費の低迷は続き、円高及び新興国経済の先行き不安等により低調に推移いたしました。特に工作機械産業においては、前年同期を割り込む受注減の状況が継続しました。

この様な状況の中、企業努力を続け、当第3四半期連結累計期間の売上収益は円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は0.3%増と前年同四半期を上回りました(決算時為替換算影響を含めた売上収益は前年同四半期比7.5%減の27,533百万円)。

営業利益につきましては、売上収益と同様に円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は前年同四半期とほぼ同等、営業利益率は前年同四半期比0.1%増と若干の増加となりました(決算時為替換算影響を含めた営業利益は前年同四半期比6.9%減の5,299百万円、営業利益率は前年同四半期比0.1%増の19.2%となりました)。親会社の所有者に帰属する四半期利益は円高による決算時為替換算及びバランスシートに対する為替差損の影響もあり3,057百万円(前年同四半期比19.8%減)となりました。

このように、当社グループは「“Further Profitable Growth(さらなる利益ある成長)”を実現し、企業価値を継続的に創造し続ける輝く企業を目指す」という経営理念のもと、“グローバル・ワン・ツバキ・ナカシマ”により、精密ボール業界におけるリーディングメーカーの地位の維持・発展を実現すべく努力しております。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

#### ボールビジネス

ボールビジネスの売上収益は、円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は3.3%増と前年同四半期を上回りました(決算時為替換算影響を含めた売上収益は前年同四半期比5.8%減の23,803百万円)。セグメント利益(営業利益)につきましては、売上収益と同様に円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は3.6%増と前年同四半期を上回りました(決算時為替換算影響を含めた営業利益は前年同四半期比4.2%減の4,793百万円)。

#### リニアビジネス

リニアビジネスの売上収益は、円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は17.9%減と前年同四半期を下回りました(決算時為替換算影響を含めた売上収益は前年同四半期比18.4%減の3,450百万円)。セグメント利益(営業利益)につきましては、売上収益と同様に円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は51.3%減と前年同四半期を下回りました(決算時為替換算影響を含めた営業利益は前年同四半期比51.4%減の242百万円)。

#### その他

その他の売上収益は、円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は0.8%減と前年同四半期を下回りました(決算時為替換算影響を含めた売上収益は前年同四半期比0.8%減の280百万円)。セグメント利益(営業利益)につきましては、売上収益と同様に円高による決算時為替換算影響を除いた実質的な増減は3.7%減と前年同四半期を下回りました(決算時為替換算影響を含めた営業利益は前年同四半期比3.7%減の264百万円)。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前期末に比べ2,571百万円減少し43,014百万円となりました。これは現金及び現金同等物が32百万円、営業債権及びその他の債権が1,564百万円、たな卸資産が1,034百万円減少したことによります。

非流動資産は前期末に比べ3,399百万円減少し46,213百万円となりました。これは有形固定資産が2,852百万円、無形資産及びのれんが577百万円減少したことによります。

流動負債は前期末に比べ1,044百万円減少し4,269百万円となりました。これは営業債務及びその他の債務が251百万円増加し、未払法人所得税等が619百万円、その他の流動負債が676百万円減少したことによります。

非流動負債は前期末に比べ402百万円減少し44,429百万円となりました。これは借入金310百万円、繰延税金

負債が157百万円減少し、その他の非流動負債が50百万円増加したことによります。

資本は前期末に比べ4,524百万円減少し40,529百万円となりました。利益剰余金が547百万円増加し、その他の資本の構成要素が5,179百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は17,187百万円と前連結会計年度末と比べ32百万円の減少となりました。当第3四半期連結連結会計期間の各活動におけるキャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュフローは4,312百万円の収入となりました。主な要因は税引前四半期利益が4,161百万円となり、減価償却費及び償却費1,197百万円、為替差損益896百万円、営業債権及びその他の債権の減少501百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額330百万円、法人所得税等の支払額1,902百万円などのキャッシュ減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュフローは561百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出537百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュフローは2,455百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額2,433百万円、借入金の返済による135百万円の支出、新株予約権の行使による113百万円の収入によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年12月期通期の業績予想につきましては、2016年8月3日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,219	17,187
営業債権及びその他の債権	11,123	9,559
たな卸資産	16,962	15,928
その他の流動資産	281	340
流動資産合計	45,585	43,014
非流動資産		
有形固定資産	20,766	17,914
無形資産及びのれん	24,742	24,165
投資不動産	3,755	3,755
その他の投資	208	180
繰延税金資産	73	144
その他の非流動資産	68	55
非流動資産合計	49,612	46,213
資産合計	95,197	89,227
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,978	2,229
借入金	155	155
未払法人所得税等	1,055	436
その他の流動負債	2,125	1,449
流動負債合計	5,313	4,269
非流動負債		
借入金	38,954	38,644
退職給付に係る負債	2,060	2,075
繰延税金負債	2,195	2,038
その他の非流動負債	1,622	1,672
非流動負債合計	44,831	44,429
負債合計	50,144	48,698
資本		
資本金	16,165	16,221
資本剰余金	10,343	10,398
自己株式	—	△0
その他の資本の構成要素	127	△5,052
利益剰余金	18,399	18,946
親会社の所有者に帰属する持分	45,034	40,513
非支配持分	19	16
資本合計	45,053	40,529
負債及び資本合計	95,197	89,227

(2) 要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月 1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年9月30日)
売上収益	29,767	27,533
売上原価	21,356	19,682
売上総利益	8,411	7,851
販売費及び一般管理費	2,711	2,646
その他の収益	84	110
その他の費用	90	16
営業利益	5,694	5,299
金融収益	46	42
金融費用	591	1,180
税引前四半期利益	5,149	4,161
法人所得税費用	1,335	1,105
四半期利益	3,814	3,056
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,812	3,057
非支配持分	2	△1
四半期利益	3,814	3,056
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	△2	△2
純損益に振り替えられない項目の合計	△2	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△748	△5,104
キャッシュ・フロー・ヘッジ	4	△63
売却可能金融資産の公正価値の変動	△22	△14
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△766	△5,181
税引後その他の包括利益	△768	△5,183
四半期包括利益	3,046	△2,127
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,045	△2,124
非支配持分	1	△3
四半期包括利益	3,046	△2,127
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	97.21	76.75
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	75.54



## 第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月 1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年7月 1日 至 2016年9月30日)
売上収益	9,627	9,104
売上原価	6,935	6,490
売上総利益	2,692	2,614
販売費及び一般管理費	909	931
その他の収益	25	59
その他の費用	21	0
営業利益	1,787	1,742
金融収益	13	9
金融費用	401	249
税引前四半期利益	1,399	1,502
法人所得税費用	462	460
四半期利益	937	1,042
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	937	1,043
非支配持分	0	△1
四半期利益	937	1,042
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△1,027	△343
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△33	34
売却可能金融資産の公正価値の変動	△22	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△1,082	△304
税引後その他の包括利益	△1,082	△304
四半期包括利益	△145	738
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△143	738
非支配持分	△2	0
四半期包括利益	△145	738
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	23.90	26.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	25.82

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	その他の資本の構成要素			
			新株予約権	確定給付制度の再測定	在外営業活動の為替換算差額	体キャッシュ・フロー・ヘッジ
2015年1月1日 残高	15,884	10,062	0	—	1,582	△328
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△2	△747	4
四半期包括利益	—	—	—	△2	△747	4
株式報酬取引	—	—	0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	2	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	0	2	—	—
2015年9月30日 残高	15,884	10,062	0	—	835	△324

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2015年1月1日 残高	7	1,261	13,949	41,156	18	41,174
四半期利益	—	—	3,812	3,812	2	3,814
その他の包括利益	△22	△767	—	△767	△1	△768
四半期包括利益	△22	△767	3,812	3,045	1	3,046
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
利益剰余金へ振替	—	2	△2	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	2	△2	0	—	0
2015年9月30日 残高	△15	496	17,759	44,201	19	44,220

(単位：百万円)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2016年1月1日 残高	16,165	10,343	—	0	—	463	△336
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2	△5,102	△63
四半期包括利益	—	—	—	—	△2	△5,102	△63
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
株式の発行	56	55	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	0	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	—	2	—	—
所有者との取引額等合計	56	55	△0	△0	2	—	—
2016年9月30日 残高	16,221	10,398	△0	0	—	△4,639	△399

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2016年1月1日 残高	△0	127	18,399	45,034	19	45,053
四半期利益	—	—	3,057	3,057	△1	3,056
その他の包括利益	△14	△5,181	—	△5,181	△2	△5,183
四半期包括利益	△14	△5,181	3,057	△2,124	△3	△2,127
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
株式の発行	—	△0	—	111	—	111
剰余金の配当	—	—	△2,508	△2,508	—	△2,508
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
新株予約権の失効	—	△0	—	△0	—	△0
利益剰余金へ振替	—	2	△2	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	2	△2,510	△2,397	—	△2,397
2016年9月30日 残高	△14	△5,052	18,946	40,513	16	40,529

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月 1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月 1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,149	4,161
減価償却費及び償却費	1,339	1,197
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	45
受取利息及び受取配当金	△46	△22
支払利息	332	331
為替差損益(△は益)	208	896
固定資産売却損益(△は益)	△7	△0
固定資産処分損	7	14
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	1,146	501
たな卸資産の増減額(△は増加)	130	△619
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	155	653
その他	△207	△626
小計	8,187	6,531
利息及び配当金の受取額	46	13
利息の支払額	△348	△330
法人所得税等の支払額	△1,774	△1,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,111	4,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△552	△537
有形固定資産の売却による収入	17	4
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△3	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△539	△561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△2,433
長期借入金の返済による支出	△135	△135
新株予約権の行使による収入	—	113
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	△2,455
現金及び現金同等物に係る換算差額	△233	△1,328
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,204	△32
現金及び現金同等物の期首残高	10,452	17,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,656	17,187

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ボールビジネス」、「リニアビジネス」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「ボールビジネス」は、精密球の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。「その他」は、不動産の賃貸等を行っております。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

## (2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2015年1月1日 至 2015年9月30日）

(単位：百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	25,256	4,229	282	29,767	—	29,767
セグメント間収益	—	—	32	32	△32	—
連結収益合計	25,256	4,229	314	29,799	△32	29,767
セグメント利益	5,004	501	275	5,780	△86	5,694
金融収益	—	—	—	—	—	46
金融費用	—	—	—	—	—	△591
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	5,149

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年9月30日）

(単位：百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	23,803	3,450	280	27,533	—	27,533
セグメント間収益	2	0	32	34	△34	—
連結収益合計	23,805	3,450	312	27,567	△34	27,533
セグメント利益	4,793	242	264	5,299	0	5,299
金融収益	—	—	—	—	—	42
金融費用	—	—	—	—	—	△1,180
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	4,161

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。